

層状積み土の分層

高度なテクノロジーで築かれた土壁
～現代へ通じる世界的な技術、その多様性～

土塁状遺構

前畑遺跡の土塁状遺構は、7世紀中頃～9世紀後半頃にかけて機能した大規模な土木構造物で、従来考えられていたよりも、多様な土木技術が採用されていました。また、それは地形や地質によって選択されているようで、とても高度な技術を選択して用いていることが分かりました。

前畑遺跡は、今後の古代土木構造物の調査研究に重要な意味を持つ遺跡であることが評価されています。